

平成 29 年 3 月 15 日
国土交通省中部地方整備局

ダブル連結トラック実験の実験参加者の追加について

<概要>

平成 28 年 11 月 22 日（火）より実施しているダブル連結トラック実験について、平成 29 年 3 月 17 日（金）より、実験参加者が追加されます。

国土交通省では、トラック輸送の省人化を促進し、生産性向上を図るため、1 台で通常の大形トラック 2 台分の輸送が可能な「ダブル連結トラック」の導入を目指しています。

平成 28 年 11 月 22 日（火）より、新東名を中心とするフィールドで実験を実施しているところですが、今般、新たに以下の実験参加者が追加されます。

開始日	実験参加者	台数	車両長	ルート
平成 28 年 11 月 22 日	日本梱包運輸倉庫 株式会社	6	21m	埼玉県狭山市～愛知県豊田市 群馬県太田市～三重県鈴鹿市
【今回】 平成 29 年 3 月 17 日	ヤマト運輸株式会社	2	21m	神奈川県愛甲郡愛川町～ 愛知県豊田市
	福山通運株式会社	1	21m	静岡県裾野市～愛知県北名古屋市 (岐阜県岐阜市経由)

なお、実験参加者は引き続き公募しており、順次実験参加者が追加される予定です。また、21m 超～25m の車両についても、現在、民間事業者で開発に向けた検討が進められているところです。

配布先：中部地方整備局記者クラブ

<問い合わせ先> ダブル連結トラック実験協議会 事務局

国土交通省 中部地方整備局 道路部 交通対策課長 みす あきひろ 翠 昭博

TEL 052-953-8178 (直通)

今回追加するダブル連結トラック実験参加者の概要



参考資料1

①実験参加者

ヤマト運輸株式会社

②使用車両

ダブル連結トラック(21m)

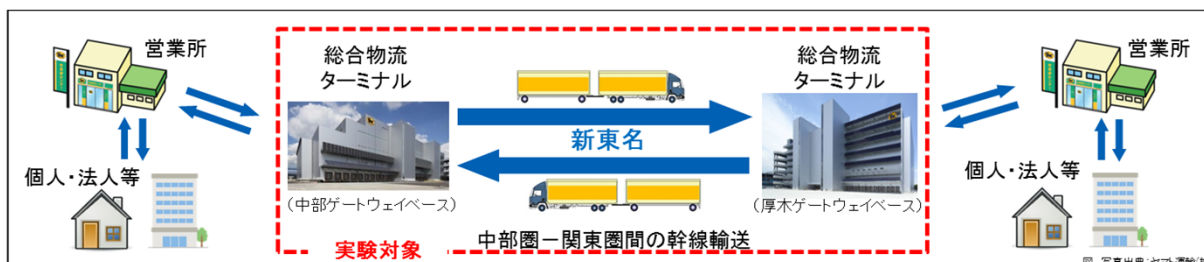


【ダブル連結トラック(21m)】

写真提供:ヤマト運輸(株)

③開始日時

平成29年3月17日(金)23時～



④走行ルート

神奈川県愛甲郡愛川町

～愛知県豊田市(2台/日)

厚木ゲートウェイベース(総合物流ターミナル)
～圏央道圏央厚木IC～東名海老名JCT
～東名御殿場JCT～新東名豊田東JCT
～伊勢湾岸道豊田南IC
～中部ゲートウェイベース(総合物流ターミナル)
(282km)



【走行ルート】

今回追加するダブル連結トラック実験参加者の概要

①実験参加者

福山通運株式会社

②使用車両

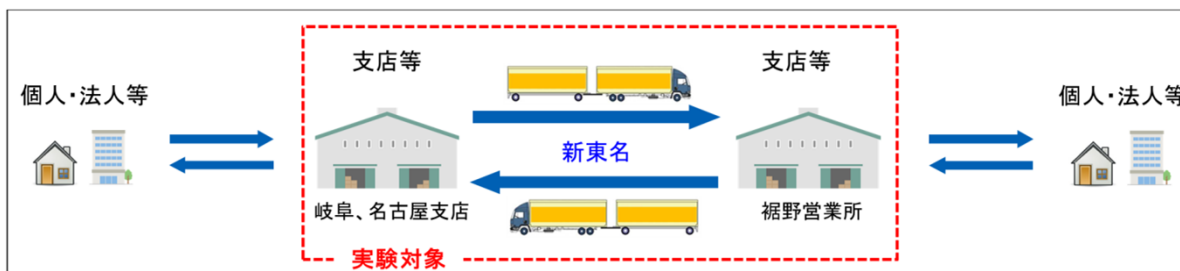
ダブル連結トラック(21m)



【ダブル連結トラック(21m)】

③開始日時

平成29年3月17日(金)22時～



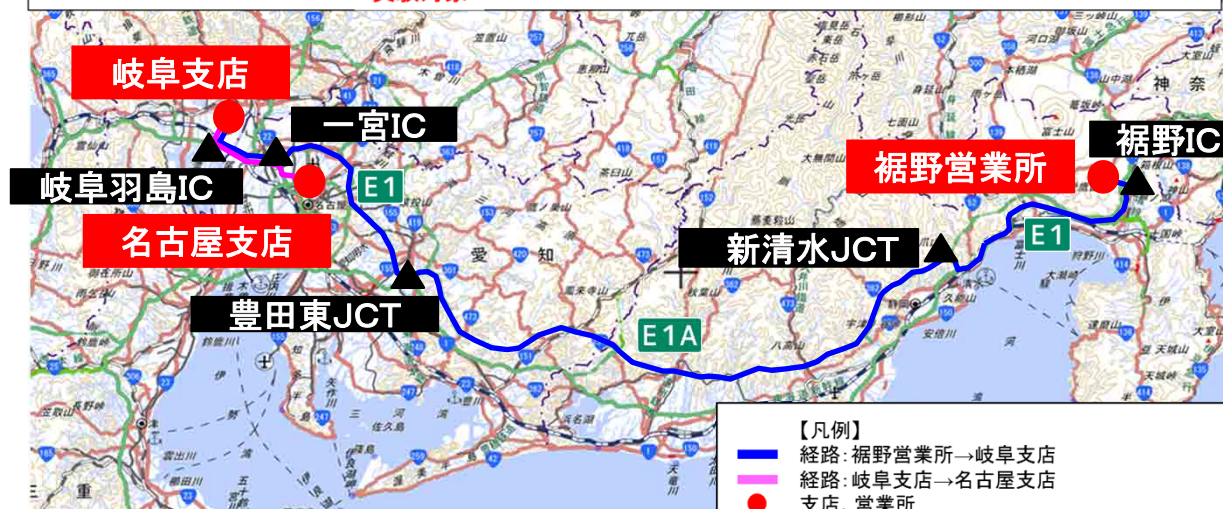
④走行ルート

静岡県裾野市

～愛知県北名古屋市(1台/日)

(岐阜県岐阜市経由)

裾野営業所～東名裾野IC～新東名新清水JCT
～新東名豊田東JCT～名神岐阜羽島IC
～岐阜支店～名神岐阜羽島IC～名神一宮IC
～名古屋支店 (278km)

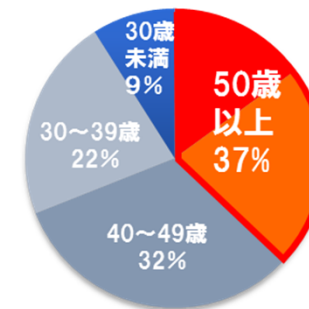


【走行ルート】

現状：トラック輸送は、深刻なドライバー不足が進行（約4割が50歳以上）



民間からの提案や将来の自動運転・隊列走行も見据え、特車許可基準を緩和し、1台で通常の大型トラック2台分の輸送が可能な「ダブル連結トラック」の導入を図り、トラック輸送の省人化を促進



現在 通常の大型トラック(10tトラック)



約12m

今後 ダブル連結トラック: 1台で2台分の輸送が可能



※写真は21m車両のもの

特車許可基準の車両長を緩和
(現行の21mから最大で25mへの緩和を検討)



実験で走行中のダブル連結トラック

平成28年11月22日より、トラック輸送の主要幹線である「新東名」で実験開始